

第21回日本母性看護学会学術集会

# A助産院における 妊娠出産包括支援事業

一般社団法人広島県助産師会たから助産院

吉田康子



# 第21回日本母性看護学会学術集会

## 利益相反状態の開示

演者名：吉田 康子

今回の演題に関連して、  
開示すべき利益相反状態はありません。



# 緒言

- A助産院は、妊娠出産包括支援事業を担うため県内唯一の有床助産所として2015年11月に開業
- 薬膳料理を提供し、赤ちゃんの生まれる力と女性の産み育てる力を引き出すようなケアが特色
- そこで、A助産院の活動を振り返り、今後の在り方について検討することを目的とした



# 倫理的配慮

- A助産院のウェブサイトによって、個人が特定される情報は伏せ公表すること、協力できない場合は申し出ていただくこと、協力できなくてもケアに不利益を被ることはないことを明示した
- この度の発表にあたり、写真利用については、本人および保護者の了承を得て掲載した



# 2019年3月末までの利用実績

- 産前産後サポート事業委託：県内23自治体中9自治体  
広島市・東広島市・呉市・三次市・竹原市  
廿日市市・海田町・府中町・熊野町

- 分娩ケア 14件
- 産後宿泊ケア 65名
- 産後デイケア 18名
- 乳房ケア 169件
- 各種講座

# 各種講座

- 妊婦健康診査
- 分娩ケア
- 産後ケア(宿泊・日帰り)
- 乳房ケア
- 1か月健診
- プレパパ&ママスクール
- ベビーウェアリング講座
- 骨盤ケア&べびいケア

- おっぱいクラス
- IAIMインファントマッサージ
- 産後骨盤矯正
- 親子のタッチ  
コミュニケーション講座
- 薬膳料理教室
- 骨盤底筋トレーニング
- カラーレッスン



# 利用者の感想

- 心身共にゆっくりできた
- 3人目だからこそゆっくり体を休める時間を確保できた
- 自宅にいるような環境で過ごせた
- 家族の手伝いとは違う精神的安定感を得られた
- 家庭的な面と専門性を持ったケアを受けて出産したいと思った
- 直接母乳授乳が難しかったのができる様になった
- 食事が美味しくて楽しみだった
- 便通が良くなった
- 食事の大切さを知った
- 手作りのご飯を子どもにも作ってあげたいと思った

当初想定した年間24件の目標分娩件数より伸び悩んだ



# 考察

- 妊娠から産後ケアまで切れ目なく母と子に寄り添い女性が母となり生まれた子が幸せに育つようと願って、利用者には少しは貢献できたのではないか
- しかし、広報不足で、利用者数は増えていない
- 生まれた子どもが無事に成長できるよう、虐待予防の一翼を担うのも助産院の役割と考える
- 気楽に立ち寄り実家に帰ったような雰囲気、地域に根差した、A助産院の存在をもっと伝えたい
- さらに、行政担当者や近隣の産婦人科医師と連携するうえで、より信頼関係を構築する必要がある





# 今後の課題

- A助産院の広報活動を活性化すること
- 産婦人科医師との連携強化
- 行政担当者との関係づくりを通し、多くの人々がより産後ケアを利用しやすいシステムの構築

